
神山 備の取扱説明書

神山 備

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神山 備の取扱説明書

【Nコード】

N9245X

【作者名】

神山 備

【あらすじ】

某所で綴っていた「こうやまたすくの作り方」を含めて、つらつらと私自身の執筆その他のアホなまでの拘りだとかを書いていきます。

現在、移行中でサイトと、もう一箇所掲載されております。そのうち、オリジナルも登場する予定です。

たすくの脳内はいつもアフレコ状態

皆さんがどんな書き方をされているのかは分かりませんが、私の場合はまずキャラクターを設定します。

年齢・体格・容姿・環境…それらのものを設定したら、舞台を用意し、キャラクターをそこに放置します。

そしてその“役者”が動くのを実況するという手法で書いているんです。

この際に重要なのはキャラの声。

アニオタたすくの頭の中にはとんでもない数の声優様の声がインプットされており、そのときのキャラに応じてそのキャラの声として聞こえてくるんです。

ちなみに「切り取られた青空」の板倉加奈子は川澄綾子さん（のだめカンタービレの野田恵）綿貫亮平は小西克幸さん（スキップビートの敦賀蓮）とかいう具合に…ブログの方では「青空」の全出演者の声を書いて失笑を買いました。

実は、これを某所で書いたときにはこれ以上のお名前を出さなかったんですが、後日書いていた全作品の主要キャラを大公開。

それがコレです。

完全に一部の人にしかウケないネタだと思えますが……

全て敬称を省かせていただきました。予めお詫び申し上げます。

まず、「切り取られた青空」(いと含む)から……
これはすべてのキャラに声優さんが付いているので、全部出せます。

板倉加奈子・川澄綾子

板倉修司・森久保祥太郎

板倉陸・川上とも子

板倉瞳・折笠富美子

綿貫亮平・小西克幸

設楽香織・皆口裕子

設楽詩織・篠原恵美

Tomさん・鳥海浩輔

うららさん・皆川純子

(堀木)俊樹・三木眞一郎

「遠い旋律」

三輪さくら・久川綾

坪内高広・山口勝平

松野芳治・小西克幸

(野江恵実・リア友)

「満月に焦がれて」

木村洋介・置鮎龍太郎

木村小百合・

桜木弘毅・関俊彦

桜木圭子・冬馬由美

木村乃笑留・井上麻里奈

桜木周人・中村悠一

「パラレル」

倉本（飯塚）夏海・チエ・ジウ

結城龍太郎・保志総一郎

武田康文・佐々木望

（中谷小夜子・リア友）

飯塚雅彦・石塚英彦

結城志穂・中原麻衣

「ハムケくオジツ ハムケ イツソ」

配役なし

「my precious」「precious dream」)

「パラレル」のメンバーは割愛)

梁原健史・小野大輔

結城総一郎・堀内賢雄

妙子・（声は確かに聞こえてるんですが、どなたかお名前分ならず）

「Future」（これも前作のメンバーは割愛）

飯塚未来・渡辺美佐

飯塚明日香・ペ・ドウナ

結城秀一郎・各父親と同じ声で

ジエラール・大塚明夫

「赤い涙」

根本昴・田中真弓

笹川樹・日高のり子

笹川京介・寺田農

安田一成・神奈延年

「交響楽」「ボクのプレシヤスブルー」（「遠い旋律」メンバーは

割愛)

笹本(坪内)久美子・三石琴乃

笹本智也・櫻井孝宏

笹本純輝・山口勝平

松野治人・小林由美子

松野楓・釘宮理恵

「バニシング・ポイント」

寺内衛・安元洋貴

名村博美・根谷美智子

名村順子・大原さやか

曳津信輔・遊佐浩二

北村冴子・キョン・ミリ

「道の先には……」

宮本美久・宮田幸季

鮎川幸太郎・置鮎龍太郎

マシュー・カール・杉田智和

(エリーサ・C・L・ガツシュタルト)・水樹奈々

谷山薫・森永理加

皆様のイメージを崩す配役だったらごめんなさい。しかし、書きながら自分で呆けるほど、すごい人数の声優さんが出てきて自分で笑ってしまいました。

この一年で劇的に変わったこと - 執筆スタイル

私の書き方がここ一年前からがらっと変わりました。

それは、ダイレクトアタックを止めたこと。

一年前に「ポメラ」を買うまでの私は、ダイレクトアタック・ブログやポータルサイトに直接入力していました。

なぜかと言うと、長時間筆記用具を持ちたくないからです。たすくは左利きを子供の頃に矯正され、右手で筆記用具を持ちます。でも、んな右手はすぐに疲れて攣ってくるんです。

ただ、パソコンのキーボードも、右を多用するようにできていると言えばそうなのですが、疲労度は手書きの比ではありません。

一応、不特定多数の方に見ただくのだし……ワードで下原なんてことも考えましたが、結局Webで載せるときに絶対に変わるの
で、結局一緒じゃないかと思ってたんです。

最近はこちらが初稿（サイトは同時進行です）というものも増えましたが、大体は別ポータルからの移行トランス

たかが、ブログ（当時）やポータルからここに移動させるだけの作業なのに、原稿が伸びる伸びる……まるでトルコアイスのごとくに伸びるんです。

（コピペを使えばいいのに、パソコン頭の私は、それを習得するのにかなり時間を食ってしまいました）

ただ、それをする、結局一から打つので誤植が山と積まれることになったりします。

某所では、ある作品に「折角素晴らしいのに勿体ないから」と、あまたの誤植を一覧表でいただきました。

現在はポメラで執筆。これは、パソほどかさばらないので、電車で実家を往復するときにと買いました。最近では、仕事の休憩時間にも打っていますが。こちらにはマイクロSDカードでコピペしています。その際に、誤植と文字と表現ブレをチェックしつつUPします。

ただ、サブタイトルはこの場でつけます。理由はポメラちゃんが入力順にかかわらず、五十音順でソートして記事を並べてしまうからです。タイトル+サブタイトルでも良いんですが、長いタイトルだと字数オーバーになりそうで、タイトル+通し番号で入れているんです。

そのサブタイをつけ忘れて、投稿ボタンを押すこと数知れず……原稿は全部消えちゃいますよね。一応またポメラちゃんから呼び出せば済むことなんです、修正箇所が多いときにわりとやつちゃうんですよ。

「ああ、またこんだけ手直しせにゃ……」
と思うと正直凹んでしまいます。

それでも、誤植は続くよどこまでも……っていう、粗忽者なんです、ポメラ後の作品をそろそろ見直したいなあとは思ってはいるのですが。

それをする、また、トルコアイス捏ねちゃうかなあと思う、今日この頃です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9245x/>

神山 備の取扱説明書

2011年10月26日03時00分発行